

「養殖業リース助成基金」予算獲得陳情 大島国対委員長、水産庁長官らに要請!

植村県漁連会長、西崎県漁連副会長、三津谷むつ湾漁業振興会長は去る11月22日、水産庁の養殖リース基金の14年度予算獲得（予算要求額5,000万円）と同基金の1億円増額を大島理森自民党国対委員長、渡辺好明水産庁長官らへ要請した。

平成8年からスタートした養殖リース事業は、養殖業者の利用率が高いが現在リース基金不足で申請受付が滞っている状況にある。

本県では、主要漁業であるホタテ漁業にこの養殖リースが適用され、ホタテ洗浄機が急速普及し漁業者からは大変喜ばれている。機械化が進むことにより、作業時間が短縮され女性や老人でもホタテ漁業ができるようになった。

これに対し、渡辺水産庁長官は「養殖リース事業は実績があり、十分成果を挙げている。要望に沿うようにがんばりたい」と語った。

また、大島自民党国対委員長は「利用価値が高く必要なものであればこれは是非予算獲得に向けて努力する」と語った。



大島自民党国対委員長へ要請



渡辺水産庁長官へ要請